

現在の Oracle の実行状況に対する ADDM の即時実行の方法

問題点の発生シナリオ

- 問題がある発生する処理を、「これから実行する状況」である
- すでにパフォーマンスの悪化の状態にある

ADDM を使ったの調査手順

- 問題がある発生する処理を、「これから実行する状況」である場合

手順 1.

処理を開始する前に AWR スナップショットを新規で作成する

手順 2.

問題の発生が予測される処理を開始させる

手順 3.

ADDM の即時実行を行って、データベースの診断を行い、①問題がある箇所と症状を発見行い、②対処策を提示させる

現在の状態で、AWR スナップショットを取得して同時に ADDM を即時実行させる方法については、次ページを参照のこと

- すでにパフォーマンスの悪化の状態にある場合

この場合には、『前回に AWR が自動で取得しているスナップショット』を使って、

ADDM の即時実行を行って、データベースの診断を行い、①問題がある箇所と症状を発見行い、②対処策を提示させる

現在の状態で、AWR スナップショットを取得して同時に ADDM を即時実行させる方法については、次ページを参照のこと

スナップショット取得とADDMの即時実行を同時に行う方法

Oracle10g の場合

[パフォーマンス] タブ → 「平均アクティブ・セッション」 セクション

／ [パフォーマンス] タブ ／

ホスト・セッション

CPU 使用率

平均アクティブ・セッション

ADDM 即時実行 ASH レポートの実行

Other
Queueing
User I/O
CPU Used

何個のセッションが CPU 上で稼働して、
何個のセッションがイベントで待機して
いるかを表示します

はんれい
グラフの凡例をクリックすることで、詳細な情報を表示させられます
最後のページ参照

ADDMの即時実行 をクリックすることにより

AWR スナップショットの取得と直前のスナップショットとの差分統計を利用
しての ADDM 分析が同時に行なわれる

データベース>セントラル・アドバイザー>自動データベース診断モ
ニタ (ADDM)

確認

新規の AWR スナップショットを作成し、このスナップショ
ットおよび以前のスナップショットで ADDM を実行しま
すか

いいえ **はい**